

教室だより

佐渡市立金井小学校
佐渡ことば・こころの教室
平成19年7月17日
第726号

T952-1209 佐渡市千種155
: 0259(63)4156(☎) 4115(代) Fax: 4117
<http://www.sado.co.jp/kanaisyo/> E-mail: kanal es@sado.ed.jp



道端にタチアオイの花がきれいに咲いているのを見掛けます。「タチアオイの花が1番上まできれいに咲いたら梅雨が明ける」と、子どものころ、祖母から聞いた記憶があります。もうすでに1番上まで咲きそうな花を見ながら、暑い夏を心待ちにしています。「夏の思い出」をたくさん作りたいものです。

支援を考える

支援について述べる前に、巣立ちに関してもう少し述べたいと思います。何をもちて巣立ちと言うかは人それぞれ違うと思いますが、自立という言葉の思い浮かべる方が多いのではないのでしょうか。

自立について、ある雑誌で北海道大学の田中康雄先生が、幾つかの定義を紹介されていました。その中に、全国自立援助ホーム連絡協議会代表の遠藤氏の定義がありました。

氏によると自立は「誰にも頼らず、一人で何でもできるようになること」でなく、「**他を適度に受け入れ、他に適切に依存できる状態**」で「**その相互依存を適切にできるようになり、自分でもやろうとする意欲(主体性)をもてたとき**」なのだそうです。

この定義がすべてに当てはまるとは言いませんが、すごく納得してしまいました。「安心な場所を感じていない」子どもが「他を適度に受け入れる」ことができるように。「安心な場所にいつまでもいようとする」子どもの状態が「適切な依存」となれるように。行える立場にある人が、それぞれにできることをしていければと思います。(中村)



「神経衰弱」もできるね

ことばの教室では、カードの絵を見て、ことばを発音したり、文を考えたりする学習をよくします。市販のカードを活用する場合もあれば、必要なことばのカードを作って使うこともあります。

今回、ラ行とザ行を学習しているお子さんのために、新しいカードを作りました。発音や文作りの学習の後、使ったカードをじっくり見つめていたCさんは、「先生、このカードで神経衰弱ができるよ」と話し始めました。「似ているものを2枚ずつ集めていくんだよ。たとえば...開けたり閉めたりするもの、上がったたり下りたりするもの、家の中で使うもの、くしに刺してあるもの、指を動かして使うもの...」などいろいろな観点でカードを分け始めました。Cさんは形や色なども観点に加え全部のカードを分けることができました。その後、一緒にそのカードを使って楽しく神経衰弱をしました。

別の時間に他の人にも同じカードを見せたところ、自分で分けるルールを考えてカードを分けていました。発音練習のために作ったカードですが他の学習にも役立ち、ゲームまですることができました。よいアイデアを提案してくれたCさんに拍手を送りたいと思います。(高原)



親の会コーナー



会員の声 No.24

あったかい時間 (K・T)

息子は今、こころの教室に楽しく通っています。最初はおもちゃ目当てでしたが、今は先生とのコミュニケーションが楽しみで、普段は学校のことほとんど話さない息子が、教室の日の報告は欠かさないほどです。それは息子だけではなく、私たち家族にとっても楽しく、あったかい気持ちにしてくれる大切な時間です。これからも、一緒にあったかい時間を過ごせるよう、親子共々ゆっくりと成長していけたら・・・と思っています。



お知らせ



夏季相談会・言語検査について

今年も夏季相談会を行います。お子さんのことばやこころの問題について、希望される方の相談をお受けします。また、夏季言語検査も希望する保育園・幼稚園で行います。案内は関係機関には発送済みですが、この件に関して質問等がありましたら、ご連絡ください。



今後の予定

下記の日程で第1回学習会を行います。子育てに参考になることが聞けると思いますので、ぜひご参加ください。

日時 7月29日(日) 13:00~15:30

会場 金井コミュニティセンター
1階 ホール(講演会会場)
2階 母子相談室(保育会場)

講演会

(講演1)「子どものためにやってきたこと
~個人として、親の会として~」
講師 新潟いなほの会代表 沼田 夏子様

(講演2)「障がい者を雇用する立場から
~保護者や先生に話しておきたいこと~」
講師 県立高田養護学校 松村 茂利様

